

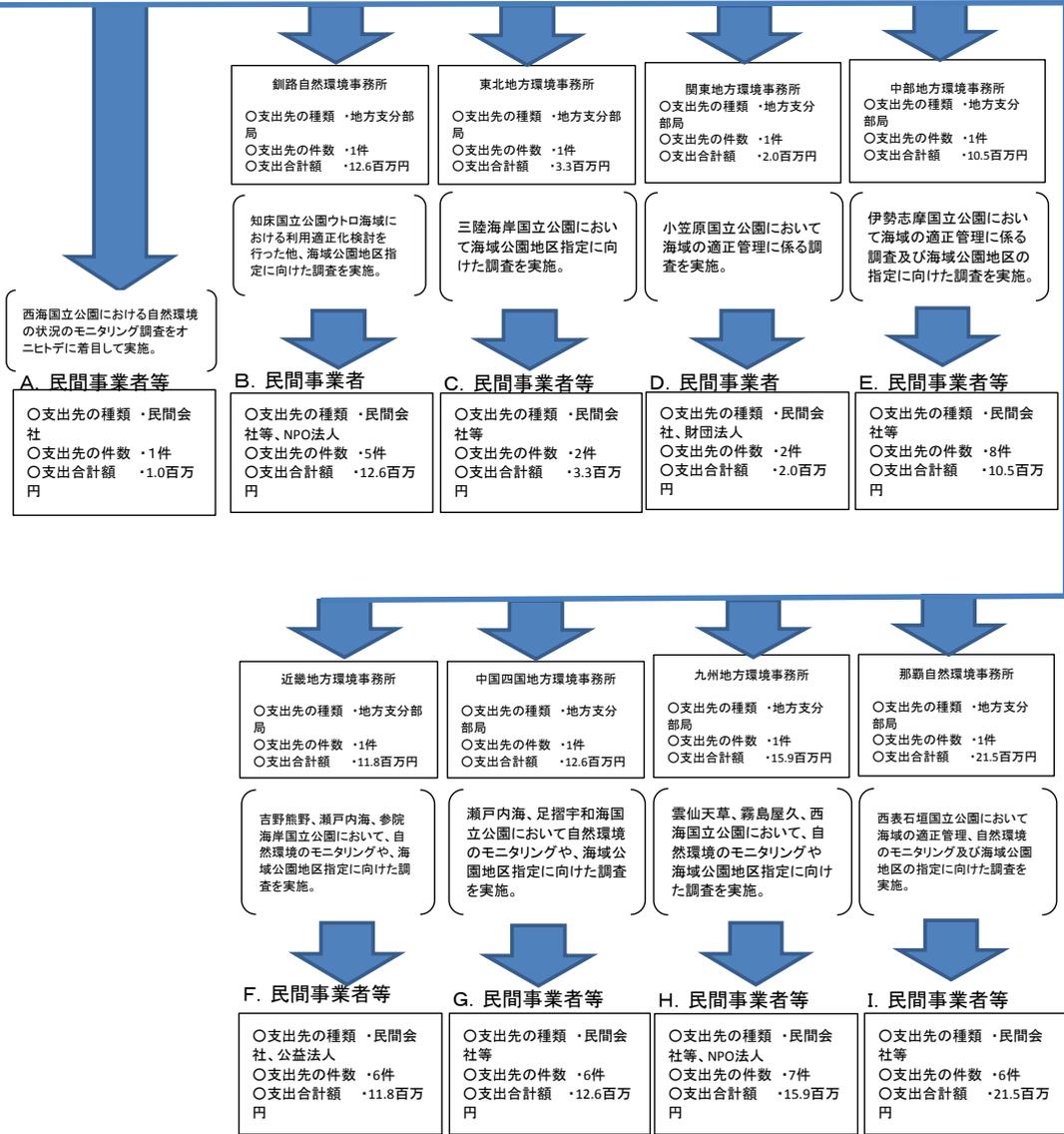
平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	海域の国立・国定公園保全管理強化事業費	担当部局庁	自然環境局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～平成26年度	担当課室	国立公園課			課長 上杉 哲郎	
会計区分	一般会計	施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然公園法第22条及び第33条 海洋基本法第18条、第25条、第26条及び第28条	関係する計画、通知等	海洋基本計画第2部2(1)、第2部9(1)才 生物多様性国家戦略2010第2部第1章第2節2.1、第2部第1章第9節1.2				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>国立・国定公園の海域においてはオニヒトデの大発生や台風などにより状況が大きく変化しやすいこと、漁業や観光利用による問題の発生などの課題があり、地域の関係者の参画により、合意形成しつつ、民間の活力を活用してモニタリングや対策を実施し、海域の国立・国定公園の生物多様性の保全管理を強化する。また、海域の保護地域の指定は不十分であり、平成20年3月に閣議決定された「海洋基本計画」、平成22年3月に閣議決定された「生物多様性国家戦略2010」において、干潟、藻場、サンゴ礁などの生物多様性保全上重要な海域について国立公園などの保護区の充実を図ることとされていることから、平成22年4月に施行された改正自然公園法に基き新たに創設された海域公園地区の指定を進める。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>生物多様性保全の観点から重要な海域における適正な管理を推進するために、漁協やダイビング業者をはじめとする多くの関係者の参画を得ながら、①生物多様性が豊かな海域における自然環境の状況のモニタリング調査、②海域の適正利用の推進に係る調査、③海域の適正管理を行う。</p> <p>また、自然公園法の改正によって制定された新たな制度である「海域公園地区」の新規指定のため、平成26年度までの5箇年計画で全国の新規指定候補地の海域調査を実施する。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	10	6	95	96	96
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	10	6	95	96	96
	執行額	10	6	91			
執行率(%)	95	100	96				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	国立・国定公園の海域管理の質的な向上を図るとともに、本調査結果を利用した海域公園地区の指定作業は今後、関係者と調整の上行うものであるから、定量的な成果目標を示すことができない。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	全国の新規指定候補地の海域調査件数及び適正海域管理推進調査件数		活動実績 (当初見込み)	件	5	4	35 (35)
単位当たりコスト	活動実績としては上記のとおりであるが、新規海域公園地区の指定や海域の適正な管理の推進は、各地域の個別の状況に応じた調査内容とし、その結果を踏まえて課題等の検討や関係者との調整を図りながら行うものであるため、単位当たりのコストを算出することにはなじまない。		算出根拠	—			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	0.3	0.3				
	鳥獣等保護費	96	96				
	計	96	96	※四捨五入			

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>環境省において、発注時よりその内容を把握しながら実施するとともに、対象国立公園を担当する地方環境事務所及び自然保護官が、当該事業の執行に際しては、期間全体にわたって指導・監督に努めており、使途の把握水準は確保されている。</p> <p>特に、現地調査に関する連絡調整、会議開催内容等について事前指導を行った上で会議に出席するとともに、調査実施前には時期、内容、体制等の調査計画や使用する備品等についても確認し、必要な助言・指導を行っている。</p> <p>平成22年度からは事業を見直し、自然公園法の改正によって制定された新たな制度である「海域公園地区」の指定のための調査及び海域の適正管理事業の実施を行った。今後平成24年度までに海域公園地区面積を、従来の海中公園面積の2倍とする目標を立てているため、平成26年度までの5箇年計画で全国の新規指定候補地の調査を実施し、現地調査、文献調査等により海域公園地区の新規指定候補地を抽出するとともに、当該地域の自然環境及び利用に関するデータ収集、指定地域の管理方法の検討、地域との合意形成のための連絡会議を行うことにより、効率的に海域公園地区の新規指定を推進する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効果的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

環境省
91.2百万円

生物多様性保全の観点から重要な海域における適正な管理を推進するために、漁協やダイビング業者をはじめとする多くの関係者の参画を得ながら、①生物多様性が豊かな海域における自然環境の状況のモニタリング調査、②海域の適正利用の推進に係る調査、③海域の適正管理を行う。また、自然公園法の改正によって制定された新たな制度である「海域公園地区」の新規指定のため、平成26年度までの5箇年計画で全国の新規指定候補地の海域調査を実施する。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. マリンサポート五島海友			F.(株)一成		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	西海国立公園五島列島オニヒトデ等分布状況調査業務	1.0	雑役務費	平成22年度紀伊半島南部海域景観資質情報収集業務	4.1
計		1.0	計		4.1
B. ユニオンデータシステム(株)			G. いであ(株)広島支店		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成22年度知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海	4.8	雑役務費	平成22年度瀬戸内海国立公園海域資質調査(広島県)業務	4.0
計		4.8	計		4
C. ソシオエンジニアリング(株)			H. いであ(株)九州支店		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成22年度陸中海岸国立公園海域景観資質調査業務	2.6	雑役務費	平成22年度 霧島屋久国立公園錦江湾地域海域景観資源資質調査業務	5.0
計		2.6	計		5.0
D.(株)母島環境開発			I.(有)海游		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成22年度母島列島海域公園地区における係留ブイの設置管理業務	1.0	雑役務費	平成22年度西表石垣国立公園海域公園地区モニタリング業務	7.7
計		1.0	計		7.7
E. 海山川里(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)			
雑役務費	平成22年度 伊勢志摩国立公園海域資源(藻場)潜水調査業務	3.8			
計		3.8			

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	マリンサポート五島海友	西海国立公園における自然環境の状況のモニタリング調査をオニヒトデに着目して実施するもの。	1.0	少額随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユニオンデータシステム(株)	ケイマフリ等海鳥の保護と持続可能な海域利用の両立をはかるため、学識経験者等の参画した検討会を開催するもの。	4.8	2	66.8
2	NPO法人バードリサーチ	ケイマフリの基礎調査を行うことで、その減少要因や利用海域を明らかにするとともに、ケイマフリ等海鳥の生息状況を把握することを目的とするもの。	4.2	3	72.0
3	環境コンサルタント(株)	知床世界自然遺産周辺海域における、野生動物等を対象とした観光利用についての情報収集、整理、分析を行うもの。	1.6	5	61.3
4	ユニオンデータシステム(株)	来年度の4月下旬の利用シーズン当初からの調査開始に向けて、専門家や地元関係機関と協議の上、調査票の原稿の作成を行うもの。	1.0	少額随意契約	—
5	NPO法人エトピリカ基金	ケイマフリの営巣適地にケイマフリを集めるために、デコイの制作を行うもの。	1.0	少額随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ソシオエンジニアリング(株)	陸中海岸国立公園及び国立公園区域外から北側を対象に公園区域の拡張及び新規の海域公園地区の指定に向けた海域公園地区潜在候補地の選定基準案の検討、資料収集、ヒアリング、海域公園地区潜在候補地の選定等を行うもの。	2.6	5	79.4
2	大船渡市漁業協同組合	末崎半島のうち、垂水浜等において、その保護及び利用上の支障になっている漂着ゴミの清掃を行うもの。	0.7	少額随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)母島海洋環境開発	母島列島海域公園地区において、係留ブイの設置管理を行うもの。	1.0	少額随意契約	—
2	(財)自然環境研究センター	小笠原国立公園の海域において、水温ロガーを設置するもの。	1.0	少額随意契約	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	海山川里(株)	伊勢志摩国立公園における海域資源のうち、潜水により藻場の調査を実施するもの。	3.8	随意契約 (不落)	—
2	いであ(株)	伊勢志摩国立公園において海域の資源調査を実施するもの。	2.6	11	34.5
3	(株)ブレック研究所	伊勢志摩国立公園における景観保全に係る調査を実施するもの。	1.0	少額随意契約	—
4	(有)オズ	伊勢志摩国立公園の鳥羽地域において、海域利用の実態を調整するもの。	0.9	少額随意契約	—
5	一般社団法人 志摩ネイチャー倶楽部	伊勢志摩国立公園の志摩地域において、海域利用の実態を調整するもの。	0.9	少額随意契約	—
6	CSGコンサルタント(株)	伊勢志摩国立公園におけるウミガメ上陸産卵調査を実施するもの。	0.9	少額随意契約	—
7	株式会社 大和印刷社	外来植物を把握する調査をまとめて報告書を作成し、普及啓発するもの。	0.3	少額随意契約	—
8	旭サービス株式会社	海底地形をデジタルデータにより把握するもの。	0.1	少額随意契約	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)一成	吉野熊野国立公園の紀伊半島南部の海域について景観資質の情報収集を行うもの。	4.1	8	36.4
	(株)一成	山陰海岸国立公園の海域景観資質について情報収集を行うもの。	3.1	5	75.7
2	(株)串本海中公園センター	吉野熊野国立公園の串本地域沿岸のオニヒトデを駆除するもの。	1.5	2	46.0
	(株)串本海中公園センター	吉野熊野国立公園の海域景観資質(サンゴ)について調査を実施するもの。	1.0	少額随意契約	—
	(株)串本海中公園センター	串本海域公園を紹介するホームページの更新原稿を作成するもの。	0.2	少額随意契約	—
3	(株)海洋生態研究所	瀬戸内海国立公園成ヶ島周辺海域においてアマモの生息調査を実施するもの。	0.9	少額随意契約	—
4	日本ミクニヤ(株)	吉野熊野国立公園の海域景観資質(藻場・干潟)について春季の調査を実施するもの。	0.8	少額随意契約	—
5	(株)NCPサブライ	山陰海岸国立公園浦富海岸の車馬乗り入れを規制する看板を作成するもの。	0.1	少額随意契約	—
6	(財)自然公園財団	山陰海岸国立公園浦富海岸の車馬乗り入れを規制する看板を設置するもの。	0.1	少額随意契約	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)広島支店	瀬戸内海国立公園広島県地域における海域公園地区候補地の藻場、干潟の調査(生物調査、潜水調査)を実施するもの。	4.0	企画競争	—
		瀬戸内海国立公園愛媛県地域における海域公園候補地の干潟の調査を実施するもの。	1.0	少額随意契約	—
2	(財)黒潮生物研究所	瀬戸内海国立公園の宇和島市海域のサンゴ調査を実施するもの。	2.5	3	98.7
		瀬戸内海国立公園足摺地域の中景観保護のためオニヒトデ等の駆除を実施するもの。	1.0	少額随意契約	—
		オニヒトデの効果的な駆除手法の調査を実施するもの。	0.8	少額随意契約	—
3	学校法人鶴学園広島工業大学	瀬戸内海に生息するスナメリについてモニタリングを実施するもの。	1.0	少額随意契約	—
4	宇和海海中資源保護対策協議会	瀬戸内海国立公園宇和海地域の海中景観保護のためオニヒトデ等の駆除を実施するもの。	0.9	少額随意契約	—
5	日本ミクニヤ(株)	瀬戸内海国立公園広島県地域において、海域の公園区域線等を明確化する調査を実施するもの。	0.8	5	48.8
6	(株)海藻研究所	山口県周防大島町沖地域について、国立公園海域公園地区指定に関する資質の有無を確認するもの。	0.6	少額随意契約	—

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)九州支店	霧島屋久国立公園錦江湾地域の海域において国立公園の内外にかかわらず新たな視点による資源調査を行い、公園区域の拡張及び海域公園地区の指定の可能性を検討するもの。	5.0	企画競争	—
		西海国立公園五島列島地域において海域の保護管理機能をより強化するため海域公園地区の指定可能性を検討し、海域公園地区の指定候補地を抽出するもの。	4.0	企画競争	—
2	(株)南日本放送	屋久島世界自然遺産地域を含む霧島屋久国立公園屋久島地域の多様な自然の魅力・価値を伝え、その適正かつ持続的な利用方法であるエコツーリズムを紹介した映像を作成するもの。	2.0	企画競争	—
3	おおすみ岬漁業協同組合	海域公園地区とその周囲も含め、オニヒトデの駆除を行い、貴重な海域景観及び生態系を構成するサンゴの保護を図るもの。	2.0	参加者確認公募	—
4	特定非営利活動法人 コミネット協会	熊本市地域における陸水生態系及び都市生態系について、講演会及び江津湖周辺を対象とした自然観察会を実施するもの。	1.0	少額随意契約	—
5	牛深ダイビングクラブ	牛深海域公園のオニヒトデの駆除を行い、サンゴの保護を図るもの。	0.9	少額随意契約	—
6	茂串区	アカウミガメの上陸及び産卵の状況を調査するとともに、産卵地の清掃を実施するもの。	0.5	少額随意契約	—
7	永田区公民館	ウミガメのふ化期の夜間に永田浜を訪れる観光客等に対して、「永田浜ウミガメ観察ルール」の普及及び徹底を図るとともに、永田浜におけるふ化期の夜間の利用実態を調査するもの。	0.5	少額随意契約	—

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)海游	西表石垣国立公園海域公園地区及び海域公園に相当する海域について、海中景観の現況を把握し、公園保護管理に資する情報を収集、整理する。	7.7	4	79.6
2	石垣島マリンレジャー協同組合	サンゴ群集の攪乱要因として監視すべきオニヒトデについて、八重山オニヒトデ対策協議会等で定めた重要保全海域を中心に駆除を実施する。	7.3	2	74.3
3	(株)ニュージェック	優れた自然景観を有する川平湾において、利用実態とその環境への影響について把握するとともに、地元地域において適切な利用のあり方を検討し、公園利用としての適正利用の推進を図る。	4.2	4	71.0
4	いであ(株)	慶良間地域周辺海域の海草類の分布状況調査を行う。	0.8	3	68.1
		サンゴ礁生態系の保全・再生等に化ける業務を効率的かつ効果的に実施するため、GISの専門的知識と経験を有する専門家を受け入れる。	0.4	1	98.9
5	(有)パンナ	国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターで開催されるサンゴ礁普及啓発行事の開催・運営の補助を行う。	0.9	少額随意契約	—
6	(株)写真工房 匠	国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター開所10周年記念事業写真展で使用する写真を作成する。	0.2	少額随意契約	—